

## 今後の部活動のあり方に関するアンケート調査 結果概要

実施時期	令和5年4月4日（火）～令和5年5月2日（火）
対象者	市内中学校の教職員（非常勤講師をのぞく） 計110人
調査方法	・Microsoft Formsを使用 ・無記名で回答 ・回答は任意
回答数	57件（回答率51.8%）

## 各質問の回答結果概要

- ◎質問4「現在指導している部活動の指導について教えてください」  
⇒ 6割近くの先生が、専門的指導ができないという現状
  
- ◎質問7「部活動の指導に負担を感じていますか」  
⇒ 6割以上の先生が部活動を負担に感じている
  
- ◎質問8「部活動の指導を行っている中で、課題だと思うことや困っていること」  
⇒ 教材研究にかかる時間の減少や時間外勤務の増加など教員の働き方に関する回答が上位を占める
  
- ◎質問9「休日の地域移行（平日は学校部活動）について」および質問10「平日も含めた地域移行について」  
⇒ 7割5分程度の先生が地域移行を望んでいる。その回答は平日も含めた移行の方がより強い
  
- ◎質問11「地域移行に対して期待すること」  
⇒ 教員の負担軽減とともに、専門的な指導や希望する種目の活動継続など、生徒の立場にたった意見も多く挙げられる。
  
- ◎質問12「地域移行に対する心配」  
⇒ 生徒指導上の課題に関する回答が多かった。
  
- ◎質問13「地域の指導者として関わりたいか」  
⇒ はいと答えた先生が2割しかない